

338 (387)

PP-037 前立腺生検の臨床的検討

神戸市立医療センター西市民病院泌尿器科
安藤 慎, 松原 重治, 中村 一郎

【目的】当院における前立腺生検について臨床的検討を行った。【対象と方法】2000年5月～2007年7月までの間に当院で前立腺癌の疑いで経直腸的前立腺針生検を行った744例(年齢42～93:中央値72歳、PSA値0.5～9540:中央値7.7 ng/ml)を対象とした。初回生検ではPZから系統的6箇所(2000年5月～2002年1月)またはこれに最外側4箇所を加えた10箇所(2002年2月～)を生検し、再生検ではこれらに2～6箇所追加した。【結果】癌検出率は全体で38.5%(298/774)、DRE(+)は62.4%(161/258)、DRE(-)は26.6%(137/516)であった。PSA値による癌検出率は<4.1ng/ml:10.9%(10/96)、4.1～10ng/ml:30.9%(117/379)、10.1～20.0ng/ml:41.2%(68/165)、>20.1ng/ml:76.9%(103/134)であった。Gray zoneにおける癌検出率は6箇所生検27.1%(16/59)、10箇所生検32.3%(103/319)であり、統計学的検討を行ったが有意差を認めなかった。再生検での癌検出率は17.8%(8/45)であり、臨床病期T3以上を2例に認めた。【考察】前立腺生検の適応と方法についてはさらに検討と改善が必要である。

PP-038 当院における前立腺生検の臨床的検討

関西医大滝井病院
杉 素彦, 福井 勝也, 矢西 正明, 島田 治,
川喜多 繁誠, 室田 卓之

【目的】当院で施行した超音波ガイド下経直腸的前立腺生検について臨床的検討を行う。【対象・方法】2006年1月から施行している8箇所生検299例について検討を行う。【結果】年齢は45歳-88歳(中央値66歳)、PSA値(ng/ml)は4.04-186(中央値9.03)であった。癌発見率は114例/299例(38.1%)で、PSA別癌発見率は4-10:51例/163例(31.3%)、10-20:32例/88例(36.4%)、20:31例/45例(68.9%)であった。体積別では30ml未満:39例/64例(60.9%)、30ml以上:75例/235例(31.9%)であった。PSAD別では0.15未満:19例/103例(18.4%)、0.15以上:95例/196例(48.5%)であった。癌陽性群のPSA(ng/ml)は4.07-186(中央値9.1)、PSADは0.05-4.11(中央値0.19)、癌陰性群のPSAは4.04-75.35(中央値9.225)、PSADは0.02-2.0(中央値0.19)であった。【結論】8箇所生検の癌発見率は体積が大きい症例、PSADの低い症例で低い傾向にある。当院では2007年9月から年齢-前立腺体積に基づく決定法を導入予定である。このデータについても追加報告する予定である。

PP-039 当院における前立腺再生検の臨床的検討

栃木県済生会宇都宮病院泌尿器科
関山 和弥, 戸辺 豊総, 千葉 量人, 貝淵 俊光,
森 偉久夫

【目的】栃木県済生会宇都宮病院にて前立腺再生検を施行した85例の臨床的検討を行った。【対象と方法】1999年4月から2005年8月までに、当科受診し前立腺癌を疑い前立腺生検を施行後、再生検した85例を対象とした。2回施行例は85例、3回施行例は8例であった。最終病理診断と主訴、最終生検時PSA、最終生検時PSAD、PSA上昇率、また、初回以降病理診断とくにatypicalとの関係など検討をおこなった。【結果】前立腺再生検の最終的な前立腺癌検出率は41.1%であった。病理結果の推移にて、初回にて悪性所見なしの症例では癌検出率は34.5%、atypical、PINの症例では50%であった。前立腺全摘を施行した例にて術前診断がT2以下の症例のうち、pT3は64.2%であった。

PP-040 経会陰式前立腺針生検の臨床的検討

静岡市立清水病院泌尿器科¹⁾、湘南東部総合病院²⁾、東京医薬品臨床開発ビル診療所³⁾、東海大学医学部外科学系泌尿器科⁴⁾
花井 一也¹⁾、本郷 祥子¹⁾、小路 直¹⁾⁴⁾、青木 麻奈⁴⁾、小方 康生²⁾、恩田 一³⁾、稲土 博右¹⁾、寺地 敏郎⁴⁾

【目的】静岡市立清水病院における前立腺針生検の臨床的検討【対象と方法】2001年1月～2007年7月までに施行した経会陰式前立腺針生検916例。年齢49～92歳(平均72歳)、PSA0.02～53580ng/ml(平均103.69ng/ml)。サドルブロック下に経直腸的エコーガイドを用いて前立腺生検施行。【結果】363例(39.7%)に前立腺癌を検出。PSA値による癌検出率は4.0ng/ml未満で11.9%、4.0ng/ml以上10.0ng/ml未満で27.2%、10.0ng/ml以上20.0ng/ml未満で41.3%、20.0ng/ml以上で77.2%。生検回数による癌検出率は初回例39.5%、再生検例40.1%。初回生検例のうちPSA値による癌検出率は4.0ng/ml未満で10.0%、4.0ng/ml以上10.0ng/ml未満で25.8%、10.0ng/ml以上20.0ng/ml未満で40.5%、20.0ng/ml以上で78.9%。【考察】当院の前立腺生検における前立腺癌検出率は、対象全体、PSA値、初回生検例において諸家報告例と大きな隔たりはなかった。生検部位や生検本数、再生検症例の適応基準などを再検討することで、更なる前立腺癌検出率の向上が期待できると考える。